ONKYO®

SPEAKER SYSTEM

Scepter-F1

取扱説明書

オーディオ機器の正しい使いかた 2

特長 4

各部の名称 5

接続のしかた 6

設置場所について 7

取り扱い上のご注意 7

修理について 裏表紙

主な仕様 裏表紙

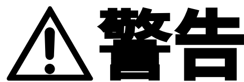
お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーサービス網一覧表とともに大切に保管してください。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

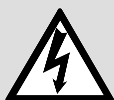


この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

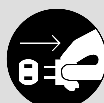


△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。





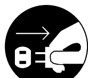
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



■ 故障したままの使用はしない





電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 改造しない



分解禁止

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない



● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない



水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

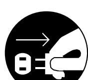
■ 中に物を入れない



● 本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

■ 中に水や異物が入ったら



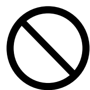


電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

⚠注意

■ 設置上の注意

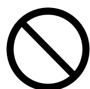


- ぐらついた台の上や傾いた所、厚手のじゅうたんの上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 特に本機はキャビネットの背が高いため設置の際には転倒しないようにご配慮ください。市販の転倒防止チェーンをお使いいただくと地震などの際、万一の転倒を防ぐことができます。
- 本機は非常に重いので、持ち運びは必ず二人以上で行ってください。けがや腰痛の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。



- 移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない



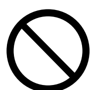
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について



- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。

■ 使用上の注意



- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。

お手入れについて

キャビネットは、時々シリコンクロスまたは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めた液に、柔らかい布を浸し、固くしぼって汚れをふきとったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものなどでふきますと傷がついたり、文字が消えたり、変色したりすることがありますから、ご使用にならないでください。

化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

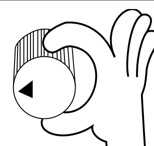
サランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るかブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

♪音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にしましょう。

特に静かな夜間には音量を下げてききましょう。

お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



特長

「動的S/Nの向上」、「伝搬波の反射低減」を実現する、Premium Technologyを随所に採用。プレミアムサウンドがひらくサウンドステージの新境地をお楽しみください。

音楽のピアニシモはもとより、計測器でさえ検知できないような極めて微少な信号が耳に届くかどうかで、音楽の表情や雰囲気、生々しさ、実像感、音場イメージが左右されますが、微少ゆえに簡単にかき消されてしまいます。微少信号を損なう要因としてはコーン紙が振動したときに発生する固有共振音が挙げられますが、これは原信号にはないノイズ（雑音）だということができます。ノイズがあれば微少な信号が聞き取りにくくなるのは自明の理です。つまり、動的Ｓ/Ｎ（SignalとNoiseの比）を大きく向上することによって、空間情報のような微少な信号が余すことなく正確に再現され、音楽の本当の楽しさを味わうことができるのです。動的Ｓ/Ｎの向上という設計コンセプトは振動板のみにとどまりません。エッジでの反射干渉やさまざまな歪み、キャビネット内で発生する定在波（これも内部伝搬波の反射が原因です）、ネットワーク回路で発生する相互電磁誘導干渉等も全てノイズと見なし、それぞれに有効な低減策を施しています。このように、今までに開発した技術とノウハウのすべてを、スピーカーシステムを構成するあらゆるパーツや電気回路に投入し、今まで見えなかったサウンドの情景を緻密に描き出すことに成功しました。

■シルクOMFダイヤフラム・ウーファー＆スコーカー

振動板には素材固有の共振音が少ないことで定評がある、シルク繊維と熱硬化樹脂によるマトリクス構造のシルクOMF（Onkyo Micro Fiber）ダイヤフラムを採用しました。また、振動板を支えるエッジやダンパーも、固有音の少ない素材を厳選し、実用音量での振動エネルギーロスが最少となる形状を選択しました。さらに、ボイスコイルで発生した音声信号の振動は、振動板からエッジへと伝搬しますが、この伝搬波は振動板とエッジの接合部で反射し、音声情報をマスクします。この反射が最も起きにくい形状をFEM（有限要素法）と試聴により、解析・検証し、Sライン・エッジと名付けて採用しました。

■アルミ・マグネシウム合金ドーム・ツィーター

金属の中では極めて軽量で、固有共振の少ないアルミ・マグネシウム合金を振動板素材に採用。超精密加工技術を駆使して深絞りプレスを行い、ボイスコイルボビン部まで一体に成形されています。接着剤を介さない一体構造と、アルニコマグネットによる強力で歪みの少ない駆動力とによって、応答特性を飛躍的に高め、60,000Hzまでの再生能力を実現しています。さらに、振動板を保護する前面ネットには、音質を劣化させない非磁性体を使用するなど、細部にわたって、音楽情報を欠落させる諸要因を排除しています。

■M.D.C.T.（磁気歪低減技術）採用の磁気回路

歪みが少なくリニアリティに優れた磁気回路とするために、磁束の対称性を高めるとともに、交・直流磁界の干渉を防止する形状と構造を全ユニットに採用しました。このM.D.C.T.（Magnetic Distortion Cancel Technology）の採用により、非直線歪みや磁気歪み、電流歪みを極限まで低減できました。

■チェリーウッド突き板光沢塗装仕上げキャビネット

音質面で評価の高いMDF（Medium Density Fiberboard）を、チェリーウッド光沢塗装のつき板で仕上げたキャビネットは定在波が発生しにくい台形形状とし、背面からも美しい佇まいを楽しむことができます。また、ユニットの振動の影響を最も受けるバッフル板は42mm厚を確保。スコーカーには、低域方向の再生能力を高めるため、5ℓの大型木製バックキャビティを設けました。また、水平補強板3枚による4分割構造を採用して、スパンの長いキャビネット各面の高剛性化を図りました。バスレフダクト用フランジは比重1.2を誇る樹脂含浸積層強化木を切削加工。風切り音を低減した形状として、厚肉塩ビパイプと接合しています。

■S.G.L.型アイソレートワイヤリング・ネットワーク

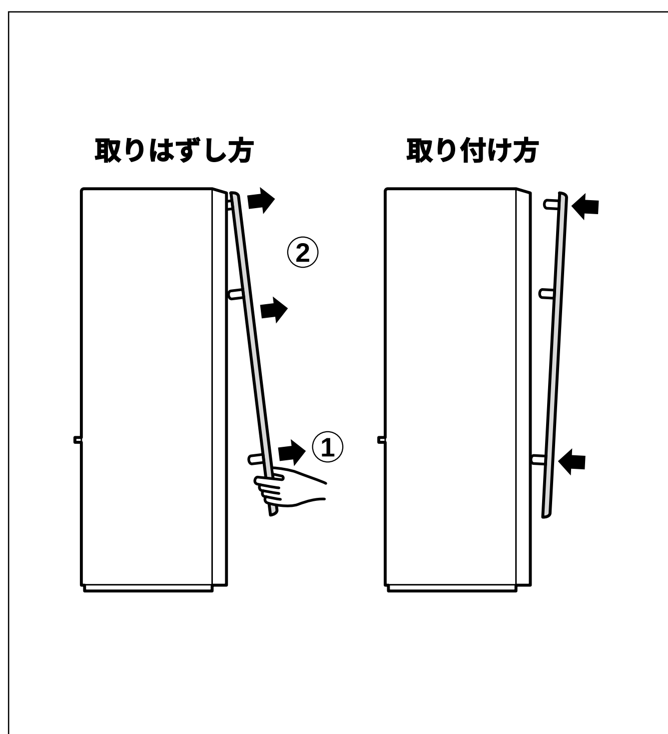
ネットワークは、各ユニットが受け持つ音域ごとに基板を独立させ、分離レイアウトすることで、電磁誘導による相互干渉をなくしました。また、音声信号の基準となるグランドはS.G.L.（Steady Ground Level）型・1点集中アースを採用し、グランドライン内での電位差の発生を防止。変動しないグランド電位で、リアリティの高い再生を実現しています。さらに、ネットワーク素子にはドイツ・WIMA製フィルムコンデンサーをはじめ、低歪珪素コア採用の低損失チョークコイル、制振布巻き内部配線ケーブルなどの高品位パーツを採用して、音声信号の純度を確保しています。

■バナナプラグ対応金メッキ真鍮ターミナル

バナナプラグが使用でき、かつ結線がしやすいようにターミナルピッチは36mmを採用。また、ターミナルシャフトには直径6mmの穴を設け、極太スピーカーケーブルが直接接続できるよう配慮しました。

各部の名称

444mm
サランネットホルダー
ツィーター
スコーカー
ウーファー
1118mm
サランネット
入力端子
バスレフダクト
キャビネット
260mm
412mm



サランネットの着脱

このスピーカーシステムは前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

取りはずし方

① サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。

② 同じようにサランネットの中央部を手前に引っ張り、次に上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。

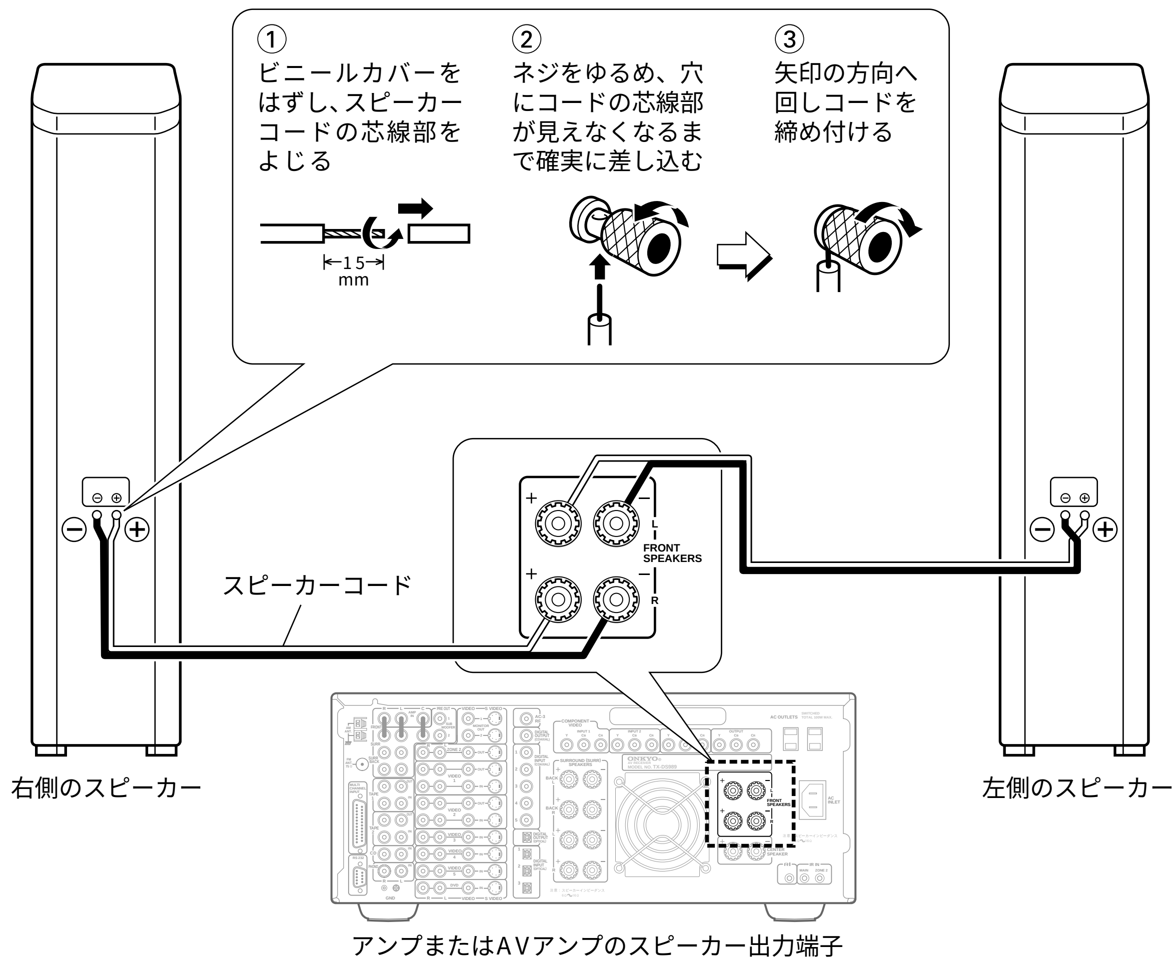
取り付け方

サランネットの突起部を本体のサランネットホルダーに合わせて押し込みます。

接続のしかた

- 本機とアンプを接続するときは、アンプのボリュームは出力最小にし、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 本機の定格インピーダンスは**6 Ω**です。接続するアンプはそれに適したものをご使用ください。
- 本機背面の入力端子とアンプのスピーカー出力端子を、スピーカーコードで下図のように接続してください。
- 右側のスピーカーはアンプのスピーカー出力端子のR（右）に、左側のスピーカーはL（左）に接続してください。

- スピーカーコードの先端は良くよじり、確実に端子に接続してください。
- 本機は市販のバナナプラグが使用できる入力端子を備えています。（ただし2連のバナナプラグは使用できません。）



アンプの電源スイッチを入れる前に

- スピーカーコードの＋、－がショート（接触）していないか十分に確認してください。ショートさせるとアンプが故障する場合があります。
- スピーカーコードの＋、－（極性）、L（左）、R（右）を間違えないでください。極性を間違えると、低音感が損なわれて音の定位が定まらなくなります。
- スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

ご注意

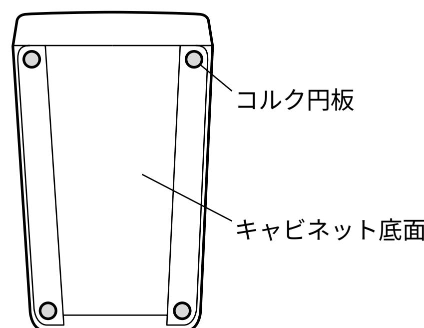
- 本機のキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、浴室や台所の近くなど、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。傾斜した場所や強度の低い台等に設置すると転倒や落下の危険があるだけでなく、音質的にも好ましくありません。

設置場所について

スピーカーシステムの音質は、それを設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音で音楽を楽しんでいただくために、次のようなことにご注意ください。

- 部屋や家具の状況により音響特性が変わります。
  同じ大きさの部屋でも、内部の家具の置き方や壁の状況により音の響きが変化し、音質が変わります。例えば風呂場などでは非常に音がよく響きますが、ソファーやじゅうたんなどを沢山置いた部屋はあまり響きません。
  どの程度の音の響きが良いかは、個人の好みにもよりますが、この響きの度合いを家具やカーテンによってある程度調整することができます。
  じゅうたんやソファー、カーテンなど柔らかいものは主に中高域を吸収し、これらが多過ぎますと響きのない、いわゆるデッドな部屋となって無味乾燥な音となり、これらが少なすぎますと逆に響きの多い、明瞭度の悪い音となります。
  以上のことをお考えのうえ、お好みの響きになるようにカーテン、ソファー、じゅうたんなどで調整してください。また、片方のスピーカーのすぐ前にソファーなどを置きますと、そのスピーカーから出る音が吸収され、左右のバランスが崩れることがあります。左右のスピーカーは家具などの置き方を考慮してできるだけ対称になるように置いてください。
- 共鳴は防いでください。
  スピーカーシステムの正面にガラス戸や堅い壁がありますと音が反対し、ある周波数だけ共鳴を起こすことがあります。このようなときには、その前面に厚手のカーテンなどを置き、吸音処理をして共鳴を防いでください。
  また、テーブルや家具などは共振を起こし「びりつく」ことがありますので、これらにも十分ご注意ください。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーシステムを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- 一般に背面の壁からの距離が遠いほど低音の量感は減衰します。壁からの距離でお好みの音になるよう位置をきめてください。
- 本機はブロックなどで持ち上げたりせず、床面に設置してください。その際、スピーカーと床との間にガタツキがありますと、質の良い低音が得られませんので、付属のコルク円板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。一般に、面接触から点接触に変える方が良い結果が得られます。付属のコルク円板を下図のようにキャビネット底面の四隅に貼ってください。

コルク円板の使いかた



取り扱い上のご注意

テレビやパソコンを組み合わせるとき

一般的にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーシステムを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。本機は（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能となっています。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合は、スピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものが置かれていますと本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

ご注意

テレビなどとの近接使用をした場合、テレビから出ている電磁波の影響でアンプの電源を切っていてもスピーカーが雑音を発生することがあります。このような場合は、スピーカーをテレビからさらに離してご使用ください。

ご使用上の注意

本機は通常の音楽再生には表示の許容入力に十分耐えますが、次のような特殊な信号が加えられますと、最大許容入力以下でも過大電流による焼損断線事故の恐れがありますのでご注意ください。

① FMチューナーが同調していないときのノイズ
② テープを早送りしたときの音
③ 発信器や電子楽器等の高い周波数成分の音
④ アンプが発振しているとき
⑤ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
⑥ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音
　（抜き差し時は必ずアンプの電源を切ってから行ってください。）
⑦ マイク使用時のハウリング

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名(Scepter-F1)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　(　　)
メモ：

主な仕様

形式	3ウェイ バスレフ型
定格周波数範囲	25Hz〜60kHz
クロスオーバー周波数	600Hz, 3kHz
最大入力	200W（EIAJ）
定格感度レベル	85dB/W/m
定格インピーダンス	6Ω
使用スピーカー	ウーファー：20cm　コーン型×2
	スコーカー：13cm　コーン型
	ツィーター：2.5cm　ドーム型
キャビネット内容積	73ℓ
外形寸法(W×H×D)	260×1118×444mm（サランネット・突起部含む）
質量	40.5kg
付属品	コルク円板（4個）
	オンキヨーサービス網一覧表
	取扱説明書（本書）
	保証書
その他	防磁対応（EIAJ）

※定格および、外観は予告なく変更することがあります。

ONKYO®
オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくはサービス網一覧表記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
お客様相談窓口　☎ 072(831)8111

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/

SN29342930
Printed in Japan G0009-1